



チームしが 県議団

滋賀県議会議員

田中松太郎

県政レポート

2017年1月 Vol.7

田中松太郎 事務所 甲賀市水口町北脇436-1 TEL.0748-63-5340/FAX.0748-63-5341

田中松太郎 検索



滋賀県と草津市、栗東市、甲賀市、湖南市、日野町、三重県伊賀市で組織する「JR草津線利用促進プロジェクトチーム」による「SHINOBI-TRAIN」デザイン草選挙の結果、「黒ベースの車体で、忍者のシルエットに流線模様が施された躍動感溢れるデザイン」が581票(投票総数2,019票)を獲得し、1位になりました。県内のJR線に、フルラッピングを施した電車が走るの初めてです。

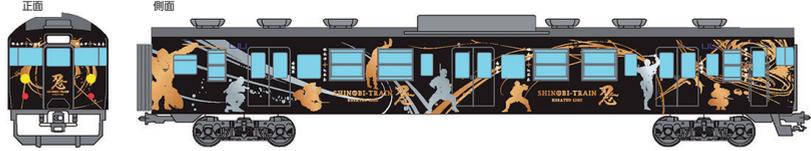
今、必要なのは「人への投資」

年金制度の改善や子育て支援、子どもの貧困対策などに国政で取り組んでこられた徳永久志元参議院議員と意見交換をさせていただきました。

徳永氏からは国による労働法制の改正や社会保障問題、消費拡大や景気対策が機能していないことが、今の深刻な貧困問題の要因だと指摘されました。

県政においても待機児童の解消など子育て支援を充実させ、また、給付型奨学金制度の創設に向けて国に働きかけるとともに、県独自の対応も進めていかねばなりません。また、高齢者が安心して暮らせるように年金制度の改善、医療や介護の負担軽減、生活保護などの相談体制の充実や自立支援に向けて国や地方自治体が一体となって取り組むことが重要になってきます。

すべての人に居場所と出番のある社会の実現のため、これからも徳永久志元参議院議員と連携し、県政課題に取り組んでいきます。



2月25日に初運行!

2月25日の「SHINOBI-TRAIN」の初運行は、10時30分ごろ上り電車が貴生川駅到着予定で、5分ほど停車しレレモニーが行われます。この日の体験乗車会等の募集は定員になり締め切られているため一般の方は乗車できません。なお、下り電車は15時台に運行予定で、こちらも残念ながらこの日は一般の方の乗車できませんが、「SHINOBI-TRAIN」を見かけたらぜひ手を振ってみてください。

翌日以降の運行予定はまだJRからの詳細が発表されていませんが、今後も引き続き運行される予定です。



JR草津線『SHINOBI-TRAIN』のデザイン決定!!

しのびとれいん

平成29年度予算編成に向けて

平成27年度決算や今年度の施策の執行状況を踏まえ、どのように来年度予算編成をするのか、

知事 平成27年度は、基本構想の実現に向け、着実に第一歩を踏み出すことができた。琵琶湖流域の生態系や在宅医療・介護連携などに関する課題も明らかになってきた。来年度予算編成は、積み上げてきた議論をもとに、「新しい豊かさの具現化に向けた施策構築に全庁をあげて取り組んでいく。」

Q 歳入確保に向けた取り組みは?

A 知事 複雑化・高度化する地域課題や、今後見込まれる行政需要に適切に対応する上で、県税収入の確保や未利用財産の売却など、様々な歳

日本漢字検定協会は、一年の世相を表す漢字一字を毎年12月に発表されますが、皆さんはどんな漢字をイメージされたでしょうか。昨年は「金」の一字が選ばれました。

その理由には、政治家による「金」(かね)にまつわる問題が多かった一方で、夏のリオ五輪での日本人選手による「金」メダルラッシュで日本中が沸き、さらには、大リーグのイチロー選手のメジャー通算3,000本安打達成、レスリングの伊調選手の上初のオリンピック4連覇達成などスポーツ界で多数の「金」字塔が打ちたてられたことなどが挙げられています。

新しい年が、一年を振り返る時に、「今年も良い年であったなあ」と思えるような一年になるよう、県民の皆さんにとって希望の持てる年となるよう、県政課題の解決に向けて、また、全ての県民の方々に出席と居場所のある「共生社会滋賀県」をつくるために会派一丸となって取り組んでいきます。

昨年最後の定例会議には、平成29年度予算編成を中心に、会派を代表して塚本茂樹議員が質問しました。

働き方改革について

いわゆる36協定(労働基準法第36条第1項に規定する協定)の遵守状況について、また、県庁内の長時間労働がなぜなくなるのかその理由と今後の時間外勤務の適正化について。

知事 県の機関が、法違反を指摘される事態となったことは大変重く受け止めており、再発防止を徹底したい。複雑化する行政課題や行政ニーズに対応するため、管理職が部下の長時間勤務を認めざるを得ないという状況もあるのではないかと推察する。今後は、「働き方改革」を一層推進し、全ての職員が意識改革をし、忙しい同僚を率先して助けるなどチームで仕事をする職場づくりを推進する。特に、管理職員に対して、これまで以上に部下の業務について責任を持ってマネジメントし、時間外勤務の縮減を目指していく。

Q 労働基準法等の遵法精神が活かされる「公契約条例」の制定について。

A 知事 労働基準法等の労働関係法令を遵守し、労働者の労働基準や労働条件を確保することは、事業者の責務であり、県としても、滋賀労働局と連携して制度の周知や啓発に努めている。公契約のあり方については、プロジェクトチームを設置し、部局横断的に様々な観点から検討を進めている。今後、労働団体や事業者などから幅広く意見を聞き、県が契約を締結している事業者の労働条件等の実態についても把握するなど、検討をさらに深めていく。

11月定例会議 代表質問

代表質問に立つ 塚本茂樹 議員

「滋賀県基本構想」では、「文化とスポーツの力」を活かした元氣な滋賀の創造」を重点政策の柱として位置づけ、滋賀の豊富な文化的資産を活かした文化による創造的な地域づくりを推進していく。誰もが豊かさを実感できる元氣な滋賀を創造するため、滋賀の文化振興に全力を尽くす。

Q 滋賀県における平成27年度のいじめの総認知件数は2,633件で、前年度から1,136件の増加。滋賀県のいじめに対する取り組みの成果と課題は?

A 教育長 滋賀県いじめ防止基本方針に則り、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう「教職員の資質向上」や「子どもたちが主人公となる学校づくり」などの取り組みを行ってきた。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置の充実を進めたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間づくりの推進に取り組んできた。

いじめの認知件数は増加しているが、教員が子どもたちの小さな変化を見逃さないという意識が高まったこと、また、子どもたちのいじめに対する認識が深まったことによるものと考ええる。

課題としては、いじめが根絶されたわけではなく、今なお、いじめで悩んでいる子どもがいること、また、新たないじめの形として「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」といういじめが増加していることなどが挙げられる。

Q 「いじめは、重大な差別事象である」という人権教育の視点からの取り組みも求められるが、所見を伺う。

A 教育長 いじめの問題は、重大な人権問題であり、人権教育の取り組みは重要。また、教職員が鋭い人権感覚と確かな指導力を持ち、この問題に対応することが必要。子どもたちには、自分の思いや考えを出し合う取り組みを通じて、人権についての正しい理解と認識を深める学びの充実を図り、自分がかげがえのない存在として感じる自尊感情を育み、互いの良さを認め合える集団づくりの取り組みを進め、全ての子どもたちが安心していきいきとした生活を送ることができる学校づくりを進めていく。

滋賀の文化振興について

「文化」というものをどのように捉えているのか。

知事 本県は、質・量ともに誇るべき文化財を保有し、また、琵琶湖をはじめとする豊かな自然と共生してきた暮らしの中で、大切に継承されてきた祭りなどの伝統行事や生活文化など豊富な文化的資産を有している。

「文化」は私たちに感動、精神的な安らぎや生き生きした喜びをもたらす、感性や創造力を育み、人と人が互いに理解し尊重し合う基盤となり、経済の発展にも寄与するなど、地域社会の発展に欠かせないものである。今、心の豊かさや人と人との絆が求められる時代を迎え、「文化」の役割がより重みを増し、「文化」の価値を再認識し、活かしていくことが「新しい豊かさの創造」につながるものと確信している。

「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」の評価について

- しがのエネルギービジョンについて
- 農水産業の振興について
- 医療福祉拠点について
- 多文化共生について
- 北陸新幹線について

「文化」は私たちに感動、精神的な安らぎや生き生きした喜びをもたらす、感性や創造力を育み、人と人が互いに理解し尊重し合う基盤となり、経済の発展にも寄与するなど、地域社会の発展に欠かせないものである。今、心の豊かさや人と人との絆が求められる時代を迎え、「文化」の役割がより重みを増し、「文化」の価値を再認識し、活かしていくことが「新しい豊かさの創造」につながるものと確信している。

「文化」は私たちに感動、精神的な安らぎや生き生きした喜びをもたらす、感性や創造力を育み、人と人が互いに理解し尊重し合う基盤となり、経済の発展にも寄与するなど、地域社会の発展に欠かせないものである。今、心の豊かさや人と人との絆が求められる時代を迎え、「文化」の役割がより重みを増し、「文化」の価値を再認識し、活かしていくことが「新しい豊かさの創造」につながるものと確信している。

その他の質問項目

- 「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」の評価について
- しがのエネルギービジョンについて
- 農水産業の振興について
- 医療福祉拠点について
- 多文化共生について
- 北陸新幹線について

「文化」は私たちに感動、精神的な安らぎや生き生きした喜びをもたらす、感性や創造力を育み、人と人が互いに理解し尊重し合う基盤となり、経済の発展にも寄与するなど、地域社会の発展に欠かせないものである。今、心の豊かさや人と人との絆が求められる時代を迎え、「文化」の役割がより重みを増し、「文化」の価値を再認識し、活かしていくことが「新しい豊かさの創造」につながるものと確信している。

「文化」は私たちに感動、精神的な安らぎや生き生きした喜びをもたらす、感性や創造力を育み、人と人が互いに理解し尊重し合う基盤となり、経済の発展にも寄与するなど、地域社会の発展に欠かせないものである。今、心の豊かさや人と人との絆が求められる時代を迎え、「文化」の役割がより重みを増し、「文化」の価値を再認識し、活かしていくことが「新しい豊かさの創造」につながるものと確信している。

「文化」は私たちに感動、精神的な安らぎや生き生きした喜びをもたらす、感性や創造力を育み、人と人が互いに理解し尊重し合う基盤となり、経済の発展にも寄与するなど、地域社会の発展に欠かせないものである。今、心の豊かさや人と人との絆が求められる時代を迎え、「文化」の役割がより重みを増し、「文化」の価値を再認識し、活かしていくことが「新しい豊かさの創造」につながるものと確信している。